

# 元気・安心 ふれあい・ 支え合いを 大切にする町

岡垣町では、住民が生涯にわたって安全で安心して  
健やかに暮らすことができるよう、  
暮らしの利便性の向上とともに、地域活動の担い手となる  
人材の育成や地域での人と人とのネットワークづくりを進めています。

## 高齢者スポーツ大会

高齢者の生きがいと健康づくりを推進する取り組みの一つとして毎年実施。軽スポーツや子どもたちとの交流を行っています。

## お互いさま命のネットワーク活動

高齢化が進むこれからの社会において、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちをつくるためには、住民同士の日常的な見守り活動や助け合いの関係づくりが重要になります。岡垣町では、高齢者や障害のある人、児童など誰もが安心して住み慣れた地域で生活できるように、住民同士が力を合わせながら、ふれあい、見守り、支え合い、励まし合う「お互いさま命のネットワーク活動」を推進しています。また地域内での見守りだけでなく、郵便局や電気ガス事業者、新聞販売店、宅配事業者、コンビニエンスストアなどの民間事業所や関係機関と協力・連携して見守り活動を実施し、自治区の取り組みをサポートする体制をつくっています。

## 地域の絆「自治区」「校区」コミュニティ

岡垣町の自慢は地域力の高さ、地域で活動する元気な人が多いことです。町には55の自治区があり、各区でさまざまな活動が行われています。また、少子高齢化などにより自治区単位では対応が難しいことも増えてきたため、各小学校区をひとつの集まりとする校区コミュニティを設立。「防犯・防災」「環境美化」「健康・福祉」など地域の実情に応じ、安心して暮らせる住みよい地域をつくるための活動も行われています。

温ひと人

インタビュー  
動画はこちら

生活に欠かせない  
コミュニティバス



地域を支える岡垣コミュニティバスふれあい。俵さんは週に3〜4回利用しています。88歳になる俵さんは高齢のため自動車運転免許証を返納。町内の移動にはコミュニティバスが不可欠だといいます。

「医療機関や岡垣サンリーアイ、いこいの里、ショッピングに出かけるときに利用しています。各施設の近くまでバスが行ってくれるので助かります。若い頃は自家用車を運転して、どこにでも行けましたが、免許返納後はバスが頼り。コミュニティバスのバス停も歩いて3〜4分の距離にあるので助かります。」

コミュニティバスに乗車するときに、ゆっくり時間を確保してくれるなどの運転士のさりげない気遣いに感謝しているという俵さん。これからも岡垣は「高齢者に優しいまち」を目指します。

免許返納後はコミュニティバスが頼り。週に3〜4回利用しています。



俵 公一さん



### 見守り活動

地域の人たちが、子どもたちに声を掛けながら登下校の安全を見守っています。



### 地域情報伝達無線システム「でんたつくん」



災害などが発生した際に、住民に迅速かつ確実に情報を伝達するため町内全戸に戸別受信機を設置しています。

### 足腰を強く、元気に

町や地域などが催す介護予防や健康づくり教室では、自宅でできるストレッチやエクササイズが体験できます。



### おかがき総合福祉保健センター「いこいの里」



住民の福祉と健康の増進及びふれあい交流の場を提供する、まちの保健福祉の拠点施設。各種健診や健康づくり事業などが行われる福祉保健館、大浴場や露天風呂などがあるふれあい館、デイサービス事業を行うデイサービス館で構成されています。併設する屋内多目的施設「すぱーく岡垣」は、天候に左右されることなく軽スポーツや催し物、バーベキューなどが行える人気の施設です。